

Discover!
ふるさと
Wish
FUKUOKA & SAGA

地域のスゴい！を、
みつける、さがす、
つくりだす。



2月23日(月)～3月1日(日)、KBC九州朝日放送の「ふるさとWish」で「大宰府市」が特集されました！
夕方ワイド情報番組「ぎゅっと」では、太宰府南小学校6年生の皆さんが「学校対抗玉入れ選手権」で大活躍！！
他にもCM「ふるさとスキップ」では太宰府キャンパスネットワーク会議学生連絡会の皆さんが元気でかるやかなスキップを披露し、市内の隠れスポットやイベントの紹介、市一押しの豪華視聴者プレゼントなど、テレビ・ラジオ・WEBでのいろいろな企画で太宰府市の新たな魅力がたくさん紹介されました。

太宰府の文華と公文書館だより 144

大宰府の対外的機能 (1)

ページID: 7241

古代の大宰府とは「律令国家における対外的機能、軍事的機能の一端を担い、かつ西海道（九州）全体を統轄（管内支配機能）した、当時としては最大の地方官衙（役所）」と定義することができると考えています。これまでこの定義をもとに、この欄で軍事的機能の一端としての防人や古代山城のことを考えてきました。今回からは大宰府の対外的機能について考えてみましょう。

当時の法律である養老律令には職員令という編目があり、その中に大宰府の職務を定めた条文があります。一方、当時の諸国の職務を規定した条文もあります。両者を比較してみると、その職務はほぼ同じなのですが、大宰府には諸国にはない蕃客・帰化・饗譚の三項が付け加えられています（ただ九州の吉岐・対馬・日向・大隅・薩摩には例外的に蕃客・帰化も入っていますが、その位置づけがやや異なります）。蕃客は外国使節のこと、帰化は外国人などが王化に帰すること、そして饗譚は外国使節に対する饗応と考えられます。つまり付け加えられた三項の職務はいずれも外国人やその使節についての規定であり、その意味で大宰

府の対外的機能に深く関連するのです。このことはとても重要で、大宰府には対外関係において諸国とは異なる職務が与えられていたことを示しています。

それでは、三項の職務は具体的にどのような内容なのでしょう。饗譚は外国使節に対する饗応ですから、入国・滞在中・帰国などの際に催される宴会のことでしょう。大宰府での饗応は、日本書紀や続日本紀といった正史にもしばしば記載されています。

蕃客・帰化はどうでしょう。私は、これらは外国使節や帰化を望む人々に対する管理・監督を意味すると考えています。この管理・監督には当時、安置供給と呼ばれた措置も含まれます。安置とはある場所に留め置いておくこと、また供給とは食事や衣服などを与えることをいいます。その安置供給の場としてすぐに想起されるのが大宰府鴻臚館で、その遺跡が福岡市にあることはみなさんもよくご存じでしょう。このように大宰府は、先の律令の規定に基づいて対外的な役割を果たしていたのです。

太宰府市公文書館 重松 敏彦